

研究部より

研究部長 佐藤 文昭

1. 事業報告

(平成21年度)

5月22日(金) 第1回研究部会(上常呂小)

6月25日(金) 第1回外国語活動プロジェクトチーム(FLAP)(上常呂小)

7月25日(土) 第2回外国語活動プロジェクトチーム(FLAP)(上常呂小)

夏の学習会 講演

サハリン国立総合大学経済東洋学大学 日本語講師 オリホヴィク 美香 氏

第2回研究部会(上常呂小)

7月28日(火) 北海道国際理解教育研究大会札幌大会開催に関わる

「夏の学習会」兼 全道部長会議

講演

7月29日 第3回研究部会(上常呂小)

8月17日(月) 第4回研究部会(上常呂小)

8月22日(土) 第5回研究部会(上常呂小)

9月4日(金) 第22回 網走管内国際理解教育研究大会

網走大会(網走南小)

10月9日(金) 10日(土)

第30回北海道国際理解教育研究大会札幌大会

課題別第1分科会提言: 相馬 一之 先生

10月29日(木) 網走研修センター講座(国際理解教育)

講師: 佐藤

12月5日() 第3回外国語活動プロジェクトチーム(FLAP)(上常呂小)

1月7日(木) 北海道国際理解教育研究協議会

理事会総会・研修会(JICA札幌)

1月16日(土) 第4回外国語活動プロジェクトチーム(FLAP)(上常呂小)

兼 第6回研究部会(上常呂小)

2. 平成20年度の研究を振り返って

◎管内大会授業の反省

・小集団のコミュニケーションは、交流する相手との距離が近いいため、話しやすいこと

を考えると、この取り組みは有効であった。

- ・子どもたちが興味・関心のある異文化を持つ方々との交流ということで、とても積極的に取り組むことができた。
- ・今回の国際交流では、事前に異文化を持つ方々との連絡や学習の意図を伝えることができなかった。
- ・自分と異文化を持つ方々との違いばかりでなく、共通点についても子どもたちが感じることができたのは良かった。
- ・この交流から、他の文化にも興味をもつ児童が増えた。例えば、チリ・アイスランドエジプト・メキシコに興味をもつ児童がいた。食べ物や世界遺産などを調べたいということから、何かの機会に調べ学習などに組み合わせてみたい。
- ・1学期から地図帳を広げて学習をする活動を取り入れてきた。世界の国の位置や日本からアメリカへの最短距離を測る学習を通し、日本から様々な国を見比べたり測ったりするようになってきた。そういう意味では、世界へと目を向けようとする児童が増えてきたように思える。
- ・異文化と触れ合おうとする子どもたちの意欲が感じられた。
- ・互いの歩みにより、言葉が違っていても、理解しようとしていた。
- ・異文化の方からの質問に対し、子どもたちの考えや気持ちを相手に伝え、理解してくれたことは子どもたちにとって大変励みになった。
- ・異文化の方々たちから子どもたちへ、もっと質問させる場面があったり、その国の文化や遊びを教えてくれたりする場面があっても良かった。

◎ その他

- ・ 仮説に関して、仮説1「身近な物事に目を向け」については、具体的に絞るかキーワードがあるとわかりやすい。
- ・ 仮説2「言葉の学び」という表現は妥当なのかどうか。
- ・ 研究内容・方法に関する文言については新年度細かい修正が必要。

3. 今後の方向性について

- ・ 毎年確認することではあるが、改めて基本に立ち返り、国際理解教育は、教科・道徳・特活・総合的な学習の時間・小学校外国語活動の全てにおいて行われる指導であると押さえる。
- ・ 外国語（英語）活動は、国際理解教育に直結する活動ではあるが、外国語（英語）活動＝国際理解教育ではないことをしっかり念頭に置く。国際理解教育の目標の達成に向けて、つまり地球市民としての資質を身に付けようとする観点に立って活動をした時、国際理解教育としての外国語（英語）活動となる。

- ・ 「身近な素材から世界へ」という視点で物事をとらえ、研究部（指導者）は、常に身のまわりにある素材の発掘と教材化に努めていく。
- ・ ネットワークを広げ、今日的な国際理解教育を再考していく。
- ・ 基本的学習過程を明確にして授業を進める。
 - ① 自分と世界との関わりに気付く
 - ② 世界と自国（地域）と自分とのつながりを深く実感するようになる
 - ③ 学習を通して、課題が見いだされる。その課題を自分はどう思い考えるのか。
 - ④ その課題を解決するためにはどうすればよいかを考え、活動（行動）する。

* 気付く→知る→考える→行動する
- ・ 国際理解教育の目標と評価
 - ～学年の発達段階を押さえた到達目標の再検討
（今年度は資料として大津論文を参照）
 - ～教科や領域のねらい（目標）との関連の再検討
- ・ 今日的課題への対応
 - ～小学校外国語活動（英語）について専門部会を設け検討

4, その他

管内大会

- | | |
|-------|-------|
| ・ 授業者 | ・ 授業校 |
| ・ 日時 | ・ 内容 |

研修センター講座

- ・ 講師（国際理解教育） 宮下 佐藤
- ・ 講師（小学校外国語活動）